

中央工学校 O S A K A
学 校 関 係 者 評 価 書
(令和 6 年度)

評価対象期間

自：令和 6 年 4 月 1 日

至：令和 7 年 3 月 3 1 日

令和 7 年 8 月 2 9 日

中央工学校 O S A K A

学校関係者評価委員会

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者等を選任し、令和6年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価の結果について評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。なお、評価の観点には次の項目による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

3. 組織

(1) 学校関係者評価委員会

座 長：金沢ちかこ	公益社団法人日本インテリアデザイナー協会 西日本エリア副エリア長
委 員：小坂田昌広	株式会社松本組取締役兼副社長執行役員
田鍋 稔	鹿島建設株式会社 関西支店 建築設計部 デジタル設計グループグループ長（副部長）
田中 由之	株式会社ピーピーアイ計画・設計研究所 代表取締役所長
岩尾 美穂	オフィスいろどり代表
事務局：中村 聖吾	中央工学校 O S A K A 校長
原 充介	中央工学校 O S A K A 教務部長兼教務室長
中島 征治	中央工学校 O S A K A 教育室長
檜崎 悟志	中央工学校 O S A K A 教務室係長
太田 育子	中央工学校 O S A K A 教育室建築系主任（教育）
諸岡 邦行	中央工学校 O S A K A 教育室建築系主任（進路・広報）

（敬称略・順不同）

(2) 任期

委員（座長含む）任期は令和6年4月1日～令和8年3月31日とする。

4. 実施

令和7年8月5日（火）、中央工学校OSAKA1号館31教室において、学校関係者評価委員会を開催した。

5. 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価委員会議事概要

ア. 議事の進行

中村校長の挨拶に続いて、事務局の原教務部長から、学校評価（自己評価・学校関係者評価）の概要について説明があり、併せて学校関係者評価シートの記入について留意事項を確認した。

イ. 自己評価書について

①学校概要の確認

事前に送付されていた自己評価書をもとに、「建学の目的（アドミッションポリシー）」「基本的運営方針」「具体的方策（厳しい実務教育・人間涵養教育・楽しい学校生活・誇りの持てる学校）」及び学校の現状（「学生数」「教職員数」「学習概況」）について、学校が全般的に良好に運営されていること、教育内容の改善が継続的に行われていること等を確認した。

②自己評価結果の報告と学校関係者評価シートの記入

事務局の原教務部長から、令和6年度自己評価書の下記項目について説明があり、その後、各委員による「学校関係者評価委員による評価」及び意見の記載を行った。（ ）内は自己評価書の評価項目番号

- (1) 教育理念・目的・育成人材像
- (2) 学校運営
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 留学生（国際交流）

続いて、事務局の中島教育室長から、令和6年度自己評価書の下記項目について説明があり、その後、各委員による「学校関係者評価委員による評価」及び意見の記載を行った。（ ）内は自己評価書の評価項目番号

(3) 教育活動

- 建築学科
- 住宅デザイン科
- インテリアデザイン科

(4) 学修成果

- 建築学科
- 住宅デザイン科
- インテリアデザイン科

③自己評価総括の確認

自己評価結果を踏まえた課題が確認できた。それぞれの課題について、改善に向けて努力することを確認した。

(2) 学校関係者評価結果

学校関係者による評価の観点に照らし合わせ、以下について確認した。委員の意見を集約すると次のとおりである。

ア. 自己評価の内容が適切かどうか

令和6年度の業務について自己評価書に基づき報告を受け、内容を確認した。概ね妥当で自己評価の内容は適切であると判断する。

イ. 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか

学外からも様々な知見を取り込み、具体的な方策を検討し、実施することで評価の向上を目指していただきたい。

ウ. 学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか

学校の重点目標や具体的方策等は、社会及び技術の変更などに対し、新しい取り組みを考案、策定されており、適切であると判断する。今後も企業との連携を一層深め、教育に反映させてほしい。

エ. 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

各項目において、問題点や課題が把握出来ており、改善に向けた取り組みについて確認できた。適切であると判断する。

6. 項目別評価

(1) 教育理念・目標・育成人材像

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・教育理念・目的・育成人材像は定められているか。	☒ 4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か。	☒ 4	3	2	1
・社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	☒ 3	2	1
・教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想は、学生・保護者等に周知されているか。	☒ 4	3	2	1
・教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想は、業界のニーズに対応しているか。	☒ 4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・将来構想の中の取り組みに生成 AI についてはありませんでしたが、現社会では教育の方向性が問題になっているかと思いますが、クリエイティブな仕事には必要だと感じていますので、取り組み頂きたいと思います。そこが業界のニーズになってくるかと思っています。

・一昨年、昨年と建設をも含めて社会の就業のあり方等大きく変化、移行している又は最中ではありますが、創造性豊かな人材と対応力のある人材の輩出の継続をお願い致します。

・「社会のニーズ」は大きく変わりつつある中で、学校制度、体制を対応させていくことは大変困難になっている。昭和から続いてきた成功体験に基づく社会的制度にとらわれず、試み、チャレンジしていく精神が必要と思慮する。学外からも様々な分野の知見をとり込めるよう講師の幅を広げて頂きたいと期待します。

・社会のニーズが多様化していく中で、教育の幅が広くなると限られた時間の中で内容等が薄くなってしまう部分の選択が重要になってくると思います。

・適切に評価されていると思います。刻々と社会が変化していますが、それらのニーズを日々アップデートされながら改善されていくことを願います。

(2) 学校運営

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1
・学則・細則・内規等は整備されているか。	4	3	2	1
・コンプライアンス体制が整備されているか。	4	3	2	1
・教育活動に対する情報公開が適切になされているか。	4	3	2	1
・情報システム化等により業務の効率化が図られているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・「人間涵養教育」を推進している学校だけに運営についても学生個々の事も考えられていることが伝わってきました。とても評価が高いと思います。新入生の常識が毎年変わる中よく取り組まれていると思います。

・社会状況変化などの情報の収集に取り込み、対処を適切にされていることが見受けられます。運営は最重要事項の1つであります。適正に継続お願いします。

・教員人材確保はご苦労されていると思います。人脈を広げて企業からの講師派遣を進めてはいかがでしょうか。(企業の広報・リクルート活動の一環として薄謝で OK) 情報システムはセキュリティ面のリテラシー向上は大切だが、人の習慣をアップデートするのはなかなか難しい。システムの専門家を迎えることとそれなりの投資が必要になると思う。

・資格試験の年度ごとに変わる対策方法、情報などはどのようにアップデートされているのでしょうか。(支援方法の見直しなど)

・適切に評価されていると思います。限られた教職員の方々に細部までに目を届けていくことは大変なご苦労もあるかと思いますが、学生のマナー意識は卒業後の社会生活の意識にもつながるところですので、細やかにご指導されることを願います。

(3) 教育活動

■建築学科

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・各項目についてよく考えられているのが見受けられます。議題及び改善方策、特記事項に記載されている記述は、社会及び技術の変更などに対し、新しい取り組みを考案、策定されているのが見受けられます。有意義な取組となる様、尽力お願い致します。

・教育の方法としてデジタルツールに親しむことは大事。スマホで育った世代は PC 初体験でプログラミング的整理や「データ」の扱い、あり方など概念の理解を促すよう指導して頂きたい。教員も学ぶ姿勢を持ち続けて頂きたい。

・資格取得の講座制はよいと思います。モチベーションの維持にむけての取組をがんばってほしいです。

・昨年にもご提言したかもしれませんが、学生に授業アンケートを依頼するタイミングは授業がスタートして間もないタイミングと、終了時の 2 度がよいと考えます。間もないタイミングの回答は担当講師が授業を適正に進めるための材料にもなると思います。(3 学科共通)

■住宅デザイン科

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	---------	---------

【自由記述】

・卒業生に営業職が多いのはなぜですか？設計ではなくて…と不思議に思いました。人と話がしたいから営業→設計→いいものが作れると自然に思う学生が増えているのかと思うと人間的に大人だと思いました。弱冠 20 才なのにすばらしい。

・内容が良く見直されている。議題と改善方策が現実に合わせて改められ、タイムリーに直されている、継続お願いします。

・ソフトウェアはどんどん変わるので、基本・根幹の大事な概念をしっかりと習得できるよう指導頂きたい。パソコンのスペックやソフトとの相性も「正解」はない。教科書的に教えることより、そこから学んで修正していく柔軟さを身につけるよう促す姿勢でよいと思います。

・パソコンのスペックの問題は大学でも発生しています。どのように対応するかはなかなか難しい問題と考えます

・昨年にもご提言したかもしれませんが、学生に授業アンケートを依頼するタイミングは授業がスタートして間もないタイミングと、終了時の 2 度がよいと考えます。間もないタイミングの回答は担当講師が授業を適正に進めるための材料にもなると思います。(3 学科共通)

■インテリアデザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・他の学科と違ってクリエイティブな事が求められる科だと思いますので、コンペに参加するのを多くするは良いかと思います。資格も大切ですが、物の組み立て、コンセプトの組み方が数をこなして身につくやり方だと思いますので賛成です。

・課題、改善方策等よく見直されています。時代に合わせ変化が速いので、立ち止まる事なく繰り返し考案対処継続お願いします。(議題、方策等リセットされた様子が見受けられる。)適正に評価されているのが見受けられる。

・AIの使い方を学んでほしい。課題で昔ながらの製図教育のようなことはモチベーションが下がるかもしれない。そのような作業はAIに任せる時代になっていく。ただ、「空間」や「寸法」「法規に基づく設計」は人間が扱うべきものとしてしっかり学んで頂きたいと思います。

・AIの授業はこれからは必要と思います。使いこなすための方法などが今後の課題と思います。

・昨年にもご提言したかもしれませんが、学生に授業アンケートを依頼するタイミングは授業がスタートして間もないタイミングと、終了時の2度がよいと考えます。間もないタイミングの回答は担当講師が授業を適正に進めるための材料にもなると思います。(3学科共通)

(4) 学修成果

■建築学科

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	---------	---------

【自由記述】

・就職率 100%素晴らしい。研究科がんばれ！！資格試験のハードルが高いので、モチベーションの上げ方を考慮が必要。学生にとっては大事な事なので頑張ってください。

・適切に評価されていると思います。

・景気の影響で就職は決まるが、学校で学ぶ意欲を持ち続けて欲しい。そのためには面白い！なるほど！となる実感をもてるような指導をお願いしたいと思います。

・昨年よりも資格取得に力を入れていることが伝わってきました。やはり、できるだけ学生のうちに取得の勉強をしておくことは重要と考えます。(各学科共通)

・就職率 100%は素晴らしいです！この成果が毎年続くと入学者募集の強みにもなると思いますので、引き続き達成されることを願っています。(3 学科共通)

■住宅デザイン科

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	---------	---------

【自由記述】

・建築系の資格はハードルが高い分、モチベーションを上げるのは 18 才～20 才の学生にとっては難しいかと思いますが、ほぼ業界に居たら最終的には取る人が多いので、若い時にがんばれるような指導はないのかと、考えさせられました。

・議題、改善方策が全般的によく見直されているのが見受けられます。適切に評価されていると思います。

・[各科共通] 卒業後のキャリアパスが良好であることが、学生募集や学習モチベーションの本質的な要因となると思うので、しっかり把握して頂きたいと思います。就職後、年次の浅い卒業生に積極的に声をかけ学生に体験を伝えてもらうような機会を増やしてはどうでしょうか。

・昨年よりも資格取得に力を入れていることが伝わってきました。やはり、できるだけ学生にうちに取得の勉強をしておくことは重要と考えます。(各学科共通)

・就職率 100%は素晴らしいです！この成果が毎年続くと入学者募集の強みにもなると思いますので、引き続き達成されることを願っています。(3 学科共通)

■インテリアデザイン科

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	---------	---------

【自由記述】

・インテリア業界は幅が広いと、進路指導の先生方も大変だと思います。その中で就職率100%は素晴らしいと思います。気になったのが退学者が多いとのことでギャップを感じている事は何かなのかを知りたいと思いました。入り口は広い科だと思いますので、改善されると入学率も上がるかと思います。

・議題、改善方策がよく見直されている。適切に評価されていると思います。社会変化に合わせ、可能な限り素早い対応をお願いします。

・インテリアで退学率が高い理由がいまひとつ分からない。

〔各科共通〕不登校になりメンタルで退学というパターンに対策が必要だと思います。今までの延長線だけでなく新しい取り組みが必要かもしれないと思いました。

〔各科共通〕学生数が減っても「教員不足」が常態化していることも何か抜本的対策が必要ということでしょうか…？

・昨年よりも資格取得に力を入れていることが伝わってきました。やはり、できるだけ学生にうちに取得の勉強をしておくことは重要と考えます。(各学科共通)

・就職率100%は素晴らしいです！この成果が毎年続くと入学者募集の強みにもなると思いますので、引き続き達成されることを願っています。(3学科共通)

(5) 学生支援

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・進路就職率が 100%とは素晴らしい！！親からしたらありがたく思うようなシステムが組まれていると思います。メンタルケアは肉親では解決できない事もある中で学校でその事に向き合っているのは良い事です。確かに人員不足ではありケアが届かない点もあるかと思いますが、深掘りする教育が正しいかはわかりません。先生たちのご健康も考慮も必要かと思いますが、それほど大切なのではと個人的に思います。

・時代の影響か、支援体制の影響か、就業進路の結果が大変良好で喜ばしい事です。継続下さい。昨年に引き続き支援体制が大変よく整備され、それが結果に結びついていると見受けられます。体制の継続をお願い致します。

・就職率 100%は素晴らしい。学生のメンタル面まで支えるためには、スクールカウンセラー的な「相談し易い窓口」を設ける必要があると思う。(自分のことを理解してくれる、現在の困難や言いにくいことを受けとめてくれる人を学校が用意するとよいと思います。) 多様な人を受け入れる寛容さをもって学生に接して頂きたいと願います。

・適切に評価されていると思います。進学者の資格取得率が重要になってくると思います。

・メンタルの問題を抱える学生へのケアについて、“スイッチ”の入るポイントが個々に異なるため、担任の先生だけでのサポートは本当に大変だと思います。学生のメンタル変化の兆候を見逃さないためにも、担任、職員に限らず非常勤の先生方との情報共有も大切かと思っています。

(6) 教育環境

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか。	4	3	2	1
・学内外の実習施設・インターンシップ等について充分整備されているか。	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・令和7年度より建築施工実習の研修所使用が再開されるとのことで良かったと思います。
現場経験ができる環境は本当に必要だと思います。インテリアデザイン科も参加できれば
と思います。建築と関わるインテリア設計もあります。その様な現場もあると思うと大きく
広がるかと思います。

・「富士教育訓練センター」での研修が使用不可になったのは残念ですが、貴校で代替えで
はあるが研修が出来良かった。就業となる社会人となる目的に向かい、ミスマッチ除去の為
のインターンシップや、対面での合同説明会参加、引き続き充実されて頂ければと思います。

・施設・設備の維持管理も学生の課題として考えられることもよいと思う。企業(ゼネコン)
も新人研修のために施設整備しているので、使えるように交渉されてはどうでしょうか。

・防災備蓄品量はどのように決めているのでしょうか？(何か指針があるのでしょうか？)

・適切に整備、対応されていると思います。

(7) 学生の受け入れ募集

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・学生募集活動は適正に行われているか。	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・大変苦慮されている様子が見受けられますが、運営につながる重要事項となります。何が求められているか特記事項記入通り情報収集に努め、適切に対応お願い致します。

・学生の進学実績が募集に寄与すると思う。また普通の大学に行くよりも、明確な目的をもって若いうちから訓練できるメリットを訴求したい。ニュースで見たが、今、高卒の求人倍率が 4.5 倍と企業からニーズが高まっているとのこと。積極的に職業訓練が人生のメリットになると訴えたいと思う。

・他の建築系専門学校との差別化、強みなどが学生、保護者に伝わっているか、一般的な学校のイメージはどうかなどの分析が重要になってくると思います。

・適切に評価し、課題をかがげられていると思います。高校 2 年生に向けてのオープンキャンパスは、大学進学と比べることもできるので有効ではないかと思います。大切なのは中央工学校 OSAKA で学ぶことは大学で学ぶことと何が違うのか、中央工学校 OSAKA で学ぶ意味などが伝えられるとよいのではと思います。

(8) 財務

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか。	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか。	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・特になしですが、ドロップアウトだけは財務的にも避けるためと思われるので先項目のケアにつながっていたのかと思ひ奥が深いと思いました。

・記述により適正に評価されていることが見受けられます。昨年同様、課題記述にある抜本的改善が必要であるならば、早期に取り組む必要があるのではないのでしょうか。

・財務的に余裕を持ちすぎるのは良くないので、「苦勞して何とか…」というぐらいが却ってつつましく誠実と感じられる。ただ、ある程度は計画的に投資できることが将来に向けて必要で、単年度決算の収支ばかり気にしてはギリ貧になりかねないので注意が必要。

・適切に評価されていると思います。

・適切に評価されていると思います。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・カリキュラムの変更など早々に取り組まれているのは良いと思います。時代を先取りするのは大変ですが、柔軟に行って下さい。資格取得率の向上は大学との差別化になると思います。本学校においては必須だと思いますので試行錯誤をお願いします。

・遵守と運営が適切に評価されているのが見受けられます。引き続き継続をお願いします。

・自己評価に基づく改善が講じられていると評価できる。コンプライアンス・ハラスメント関係は多様化しつつあり、線引きもケースバイケースなところもあり難しい場面もあるが関係者が学び続ける環境を用意する必要があると思う。(e-learning等を定期的に履修するなど)

・資格取得の推進、取得率の向上の取組をがんばってほしい。(なかなか若い人が資格を取得できていないので)

・適切に運営・管理されていると思います。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・学生ボランティアの参加の考え方は良いと思います。つめ込みすぎのも良くないかと思
います。しかしながら各協会のボランティア活動に参加はしてほしいと思います。自分の将来
像が見れるため学ぶ活力になるのではと思います。

・適切に評価されていると思います。

・学生のボランティアは「自ら参加して関わり行動していく姿勢」の様なものを醸成したい。
学生が直接ボランティア活動をすることに限定しなくてよいと思う。「よい学生を輩出する
こと」が一番の社会貢献！

・適切に評価されていると思います。公開講座はパンフレットだけの周知ですか？どの程度
の参加がありますか？

・適切に評価されていると思います。

(11) 留学生（国際交流）

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・留学生の受け入れについて戦略を持って行っているか。	4	3	2	1
・受け入れ・在籍管理等について適切な手続きがとられているか。	4	3	2	1
・留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・留学生の進路に建築やデザイナーになる目的はないのでしょうか。中央工学校 OSAKA の特性を活かせてない感じがします…。授業の内容がわからないので、すみません。他に進路がある学生のためならわかります。

・適切に評価されている事が見受けられます。課題に対する方策について具体的方策の対応をお願い致します。

・留学生が卒業後、日本で仕事するのか、本国へ帰るのか、目的意識に合わせた指導が行える環境を期待する。交換留学生もよいと思う。

・適切に評価されていると思います。

・適切に対応、評価されていると思います。

7. 総括

令和6年度における学校業務について、自己評価結果の報告に基づき、学校関係者評価を行った。評価の観点に照らして、全般的に適切な自己評価結果であると判断する。

以上